

令和3年2月18日

四国運輸局長 上園 政裕 様

一般社団法人四国バス協会
会長 清水 一郎



新型コロナウイルスの影響に対するバス事業への支援要望について

平素よりバス事業につきまして、格段のご指導、ご支援を賜っていることに厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響により、バス事業は「戦後最大の危機」と言っても過言ではないほど、非常に厳しい状況にあります。

路線バスは、地域の交通確保という使命から、コロナによる自粛期間中も運行を続けざるをえず、結果として、企業の存続に関わるほどの多額の欠損を計上しております。貸切バスにおいては、観光需要の大幅な減少により経営状況は大変深刻な状況です。

現在、バス事業者は限界まで切り詰めた収支改善を行い、かろうじて事業継続している状況にあり、このまま推移すれば四国内から大半のバス路線が消滅することとなることを危惧しております。

つきましては、四国バス協会といたしまして、下記の内容について要望いたします。

記

1. 運行費補助支援の充実

非常に厳しい状況の中、地域交通の確保のためにも、将来的に持続可能となるような運行費補助支援の充実をお願いします。

2. 運賃の弾力的な改定

バス事業者は、各社の収支改善努力だけでは、路線の維持が非常に厳しい現実があります。運賃を弾力的に改定できるようお願いします。

3. イコールフットィングの観点での支援

現在、国としての各種支援は、業種や企業によって大きな差が生じております。バス事業は、戦後最大の危機を迎えています。

イコールフットィングの観点で、ご支援頂きますよう、お願いします。